

JAC創立100周年記念国内登山(中央分水嶺踏査)の山行報告書

(1)～(8)は必ず記入してください。(9)～(11)は、気づいた事項があれば記入してください。

(1) 担当支部:	広島支部	(2) 記載者氏名:	佐々木弘磨	会員番号:	12693	事務局整理記入欄	広島 - 043
分水嶺区分	W465坂/小原峠 ~ W462水越峠	(3) 山行日:	2004年	9月	4日	(4) 天候	小雨のち曇り

(5) 参加者氏名および会員番号

サポート要員氏名および会員番号

平田 恒雄	7020	佐々木弘磨	12693				
木村 知博	12663	石井 一行	登山愛好者				
前垣 壽男	12680						
計			5名	計			名

(6) 山行記録・位置確認(出発点・ピーク・峠・到達点など、主要ポイントに関して)・所要時間・道の状況

コース概略:	W465坂/小原峠 ~ W464 779.1m峰 ~ W463大土山 ~ W462水越峠												
アプローチ:	東広島市・呉市・広島市 ~ 向原 ~ W465坂/小原峠 W462水越峠 ~ 向原 ~ 東広島市・呉市・広島市												
地点コード	地点名	2.5万分の1 地形図名	経度E			緯度N			高度 m	到着 時刻	出発 時刻	道の 状況	(8)～(11)の特記 事項等との関係
			度	分	秒	度	分	秒					
歩行開始点	坂/小原峠	敷名											
分水嶺到達点W465	坂/小原峠	敷名	132	47	36.3	34	38	10.3	537	10:15	11:35		
	高天ヶ原	敷名								12:10		A-1	
W464	779.1峰	敷名	132	46	3.7	34	38	22.2	781	12:50		A-1	
	念仏岩	敷名								13:50		A-1	
W463	大土山	敷名	132	46	51.1	34	38	21.5	800	14:10	14:30	A-1	
分水嶺離別点W462	水越峠	敷名	132	47	32.5	34	38	13.0	586	15:40		B-2	
歩行終了点	水越峠	敷名											
総歩行時間(休憩時間を除く):												3時間45分	

(7) 三角点の位置と保存状況

上記(6)の地点コードを 記入してください	点名	等級	方位	保存 状況	特記事項
W464	779.1峰	4		良好	
W463	大土山	2			

(8) 人工施設の現況および地形図との相違点

W465向原町坂/甲田町小原峠に「大土山憩いの森キャンプ場」がある。又、近くの向原町側には灌漑用の堀、輪山提がある。最近、向原町と甲田町は安芸高田市となった。

(9) 水および植生に関連した特記事項

広葉、針葉樹林間で数頭の野生鹿を見る。W465峠向原町坂/甲田町小原峠は大土川、W462水越峠は大田川水系の佐山川の源流に位置する。全体に分水嶺稜線の甲田町側は広葉樹林帯、向原町側は杉、桧の人工樹林帯。クリ、アケビ、ワレモツコウ有り、W462水越峠の近くにある人気のない灌漑用の堀にはカモがいた。

(10) その他の特記事項

W463大土山は天尊降臨の伝説が残る。備後、安芸を分ける国境の山であり分水嶺の山でもある。W465坂/小原峠からW463大土山に至る登山道は、馬蹄形に約3kmが土塁沿い(町境・分水嶺)にある。途中には三廉縄を巻いた大岩や神々の岩、聖地の「高天ヶ原」がある。又、頂上真下には大正9年5月5日、佐伯郡観音村延命寺の高僧により南無阿彌陀仏と刻まれた「念仏岩」がある。更にW463大土山から北へ約10分の所に芸藩通史に名所として記載されている「潜り岩」がある。W463大土山は信仰の山として土地の人に知られていると共に一帯には大きな岩塊が多く、摂理面で割れた岩は多くの伝説を生む。W465をW465坂/小原峠に訂正。
--

(11) 写真の添付:(有りの場合には、写真説明を記入してください)

写真説明: